

# 老舗の流儀

## マルモ機械(創業1894年) (茅野市・農林業機械販売)

# 細心のサービス 信頼獲得

耕運機、刈り払い機、チェーンソー、除雪機、芝刈り機…マルモ機械(茅野市)は農林業向けを中心とする機械の専門店だ。茅野市内に2店舗、原村に1店舗を展開。諏訪地方だけでなく、隣接する山梨県北杜市一帯も商圏に取り込んでいる。

特約店契約を結ぶ大手機械メーカー各社の中で、最も売上比率が高いのがホンダ(東京)の製品。自動車や二輪車の印象が強いホンダだが、耕運機や発電機、除雪機といっ

た「汎用製品」と呼ぶ分野でも60年の歴史がある。マルモ機械は、ホンダが汎用製品の販売を始めて間もないころからの特約店。同社が

行った汎用機特約店の顧客満足度調査で、全国1位に選ばれた実績もある。「安心の専門店」を旗印に信用を築き、年輪を重ねるように毎年少し

ずつ業績を伸ばしている。

4代目社長の丸茂明さん(64)によると、初代は茅野市玉川で鍛冶屋を営んでいた。製糸業が盛んになり始めた1894(明治27)年、蚕が繭を作る足場をわらで簡単に作れる養蚕具を考案。「丸茂式」として製造販売を始めたのが創業とされる。

その後、足踏み式脱穀機などの農機具も製造。丸茂さんが子どものころは、本社の奥に工場があった。だがエンジンを使った耕運機や田植え機が普及し始めたことで製造から撤退。農業機械の販売・修理専門店にかじを切った。

1971(昭和46)年、国がコメの生産調整(減反)を本格導入。成長産業だった農業機械の市場に転機が訪れると、事業の多角化に乗り出した。すぐに建設現場用の土砂

運搬車や林業機械の取り扱いを開始。丸茂さんのアイデアで、ゴルフ場用の芝刈り機などの販売も始めた。

この戦略が功を奏し、収益基盤は安定した。ここ数年は除雪機の販売が好調。まさに入

年ほど前からインターネット通販が台頭。ホームセンターも品ぞろえを充実させ、競争環境が厳しさを増した。それでも、大きな影響を受けずに済んでいるのは、客に必要とされる店づくりのため「安心のアフターサービス」に力を入れていくからだ。

過去に除雪機を購入し、今も使い続けている客は約1600人。冬が来る前に必ずダイレクトメールを送り、社員総出で点検に赴く。「こまめややっている店は、ほかにないだろう」と丸茂さん。年中無休で客と向き合う。細心のサービスが、右肩上がりの業績を支えている。

「この口問。最高」「ひんや」この正体は、口の中夏には最高ごくおいしきです。



「茅野市」26日(11月2日)、絵本作家の絵本原画など約11月2日は、図書館司書の絵本「しんじの読み聞かせをきくちさん」本人が絵を描く講座に参加費千円(中学問い合わせは同日0へ)。

創業・明治27年  
アフターサービス安心  
機械の専門店!

**株マルモ機械**

チェーンソー  
耕うん機  
刈払機  
除雪機

本社は茅野市本町西9-56。☎72-22888。ほかたてしな店(茅野市豊平山寺3131)と原支店(原村中新田15369)がある。いずれも営業時間は午前8時半〜午後5時半。盆と年末年始を除き年中無休。パートを含む従業員は15人。まさ割り機やペレットストーブも取り扱っている。

「創業・明治27年」と記した「たてしな店」の看板



たてしな店の前に展示している除雪機や耕運機。店内にはチェーンソーなどがずらりと並ぶ。

◇茅野市「茅野